

足立区 住まいに関するアンケート調査結果（概要）

1 調査概要

（１）調査の目的

（仮称）足立区住生活マスタープランの策定に向け、区民の住まいの状況や区の住宅施策に対するニーズ等を把握し、今後の住宅施策を検討するための資料を得ることを目的としている。

（２）調査の対象

区内に１年以上居住している１８歳～８５歳の区民の中から無作為に抽出した３,０００人を対象とした。

（３）調査の方法・時期

平成２８年１月５日～平成２８年１月１８日にかけて、郵送により調査票を配布・回収して実施した。

調査対象数：３,０００人

有効回答数：１,１５１人

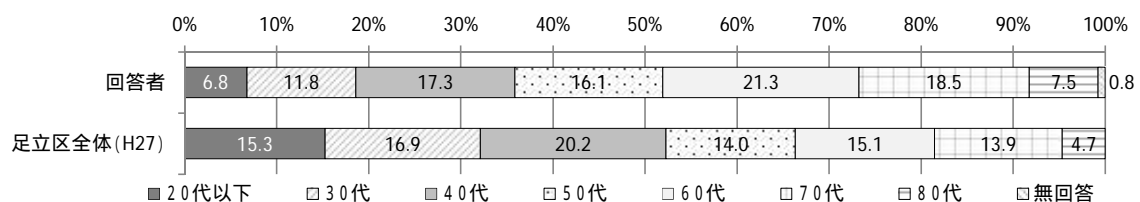
（回答率：３８.４％）

2 回答者の属性

（１）年齢

「６０代」が約２１％、「４０代」「５０代」「７０代」が約１６～１９％、「３０代」が約１２％、「２０代以下」「８０代」が約７～８％となっている。

年齢



注：「足立区全体（H27）」は住民基本台帳（平成２７年１月１日）による

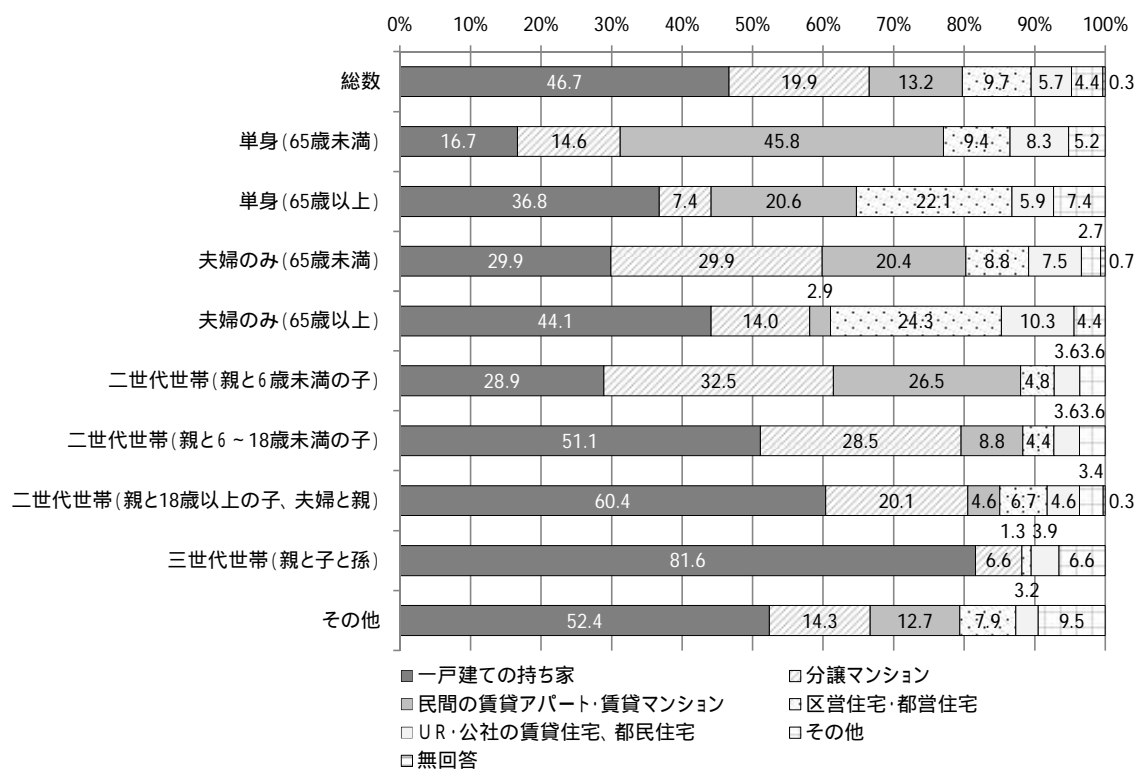
3 現在の住まいについて

(1) 住宅タイプ

「一戸建ての持ち家」が46.7%と最も多く、次いで「分譲マンション」が19.9%、「民間の賃貸アパート・賃貸マンション」が13.2%、「区営住宅・都営住宅」が9.7%となっている。

家族構成別では、夫婦のみ（65歳未満）や二世世代世帯（親と6歳未満の子、6～18歳未満の子）で「分譲マンション」の割合が高く、それぞれ29.9%、32.5%、28.5%となっている。

家族構成別の住宅タイプ

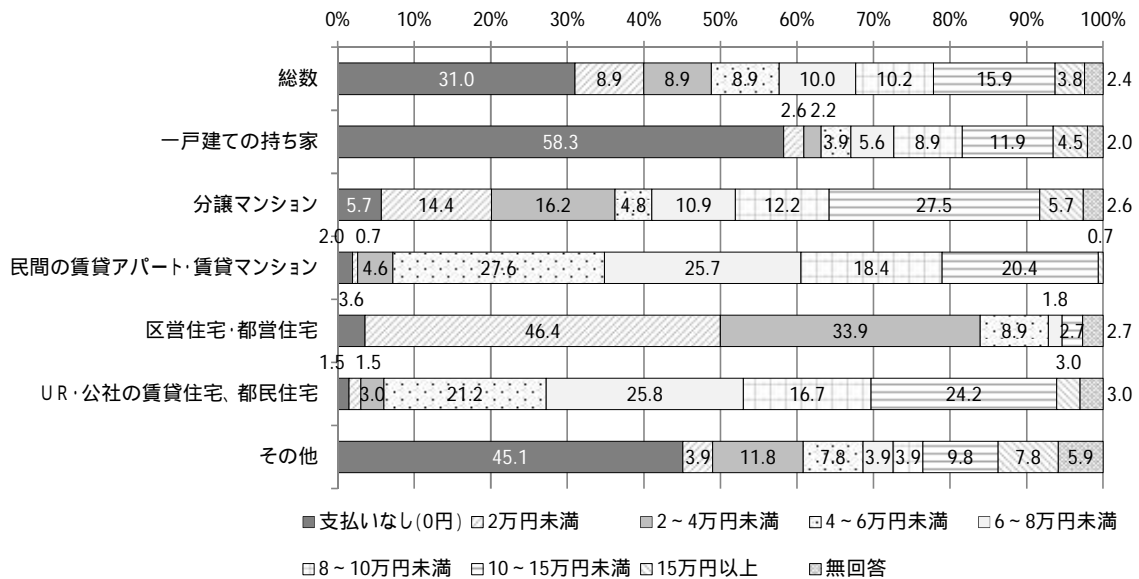


(2) 月々の住居費

「支払いなし(0円)」が31.0%と最も多く、次いで「10～15万円未満」が15.9%、「8～10万円未満」が10.2%、「6～8万円未満」が10.0%となっている。

住宅タイプ別では、一戸建ての持ち家で「支払いなし(0円)」が58.3%と多く、分譲マンションでは「10～15万円未満」、民間の賃貸アパート・賃貸マンションでは「4～6万円未満」、区営住宅・都営住宅では「2～4万円未満」、UR・公社の賃貸住宅、都民住宅では「8～10万円未満」の割合が多くなっている。

住宅タイプ別の月々の住居費

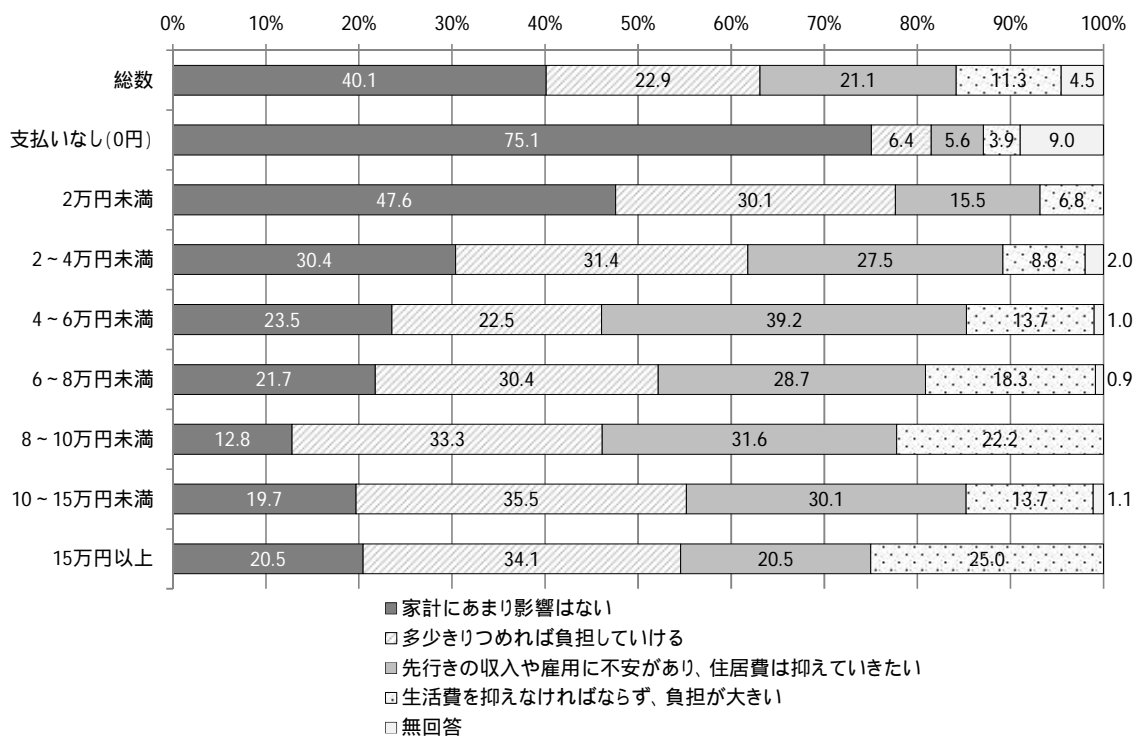


(3) 住居費が家計に与える影響

「家計にあまり影響はない」が 40.1%と最も多く、次いで「多少きりつめれば負担していける」が 22.9%、「先行きの収入や雇用に不安があり、住居費は抑えていきたい」が 21.1%、「生活費を抑えなければならず、負担が大きい」が 11.3%となっている。

月々の住居費別では、「6～8 万円未満」や「8～10 万円未満」、「15 万円以上」で「生活費を抑えなければならず、負担が大きい」の割合が多く、それぞれ 18.3%、22.2%、25.0%となっている。

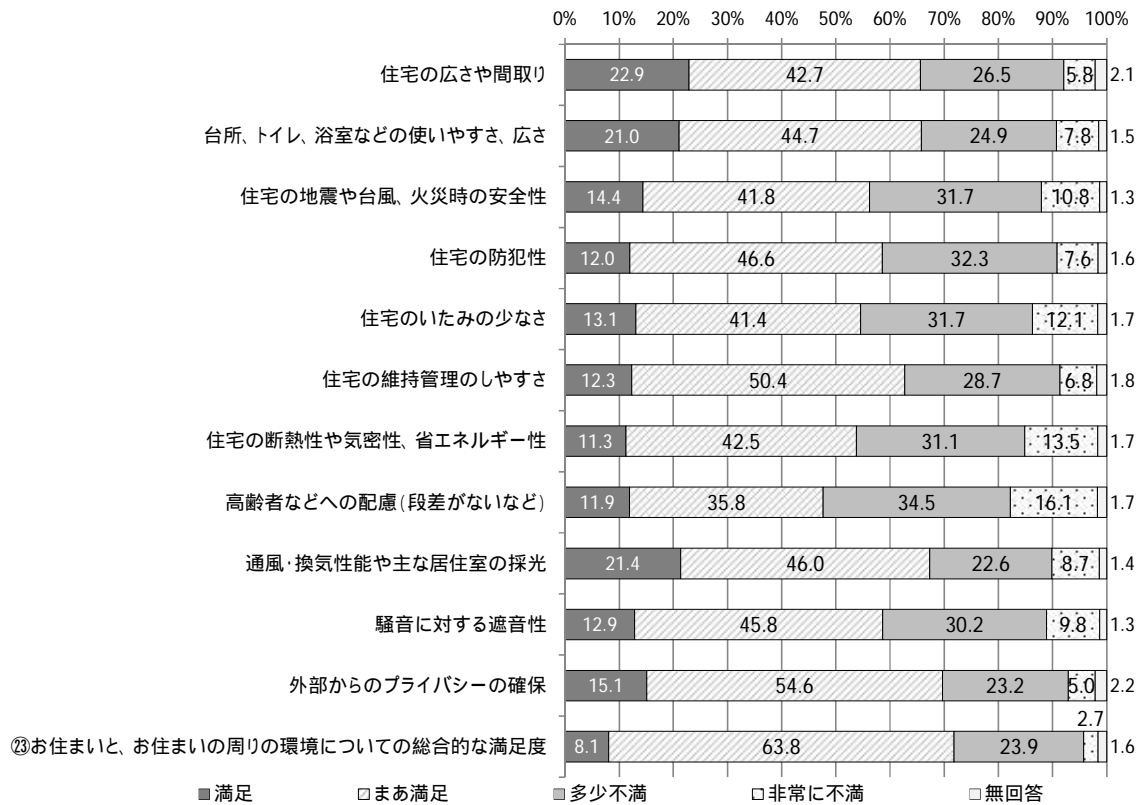
住居費が家計に与える影響



(4) 住まいに関する満足度

現在の住まいに関する満足度(「満足」と「まあ満足」の合計)は、「住宅の広さや間取り」(65.6%)、「台所、トイレ、浴室などの使いやすさ、広さ」(65.7%)、「通風・換気性能や主な居住室の採光」(67.4%)、「外部からのプライバシーの確保」(69.7%)などの満足度が高く、「高齢者などへの配慮」(47.7%)の満足度が低くなっている。

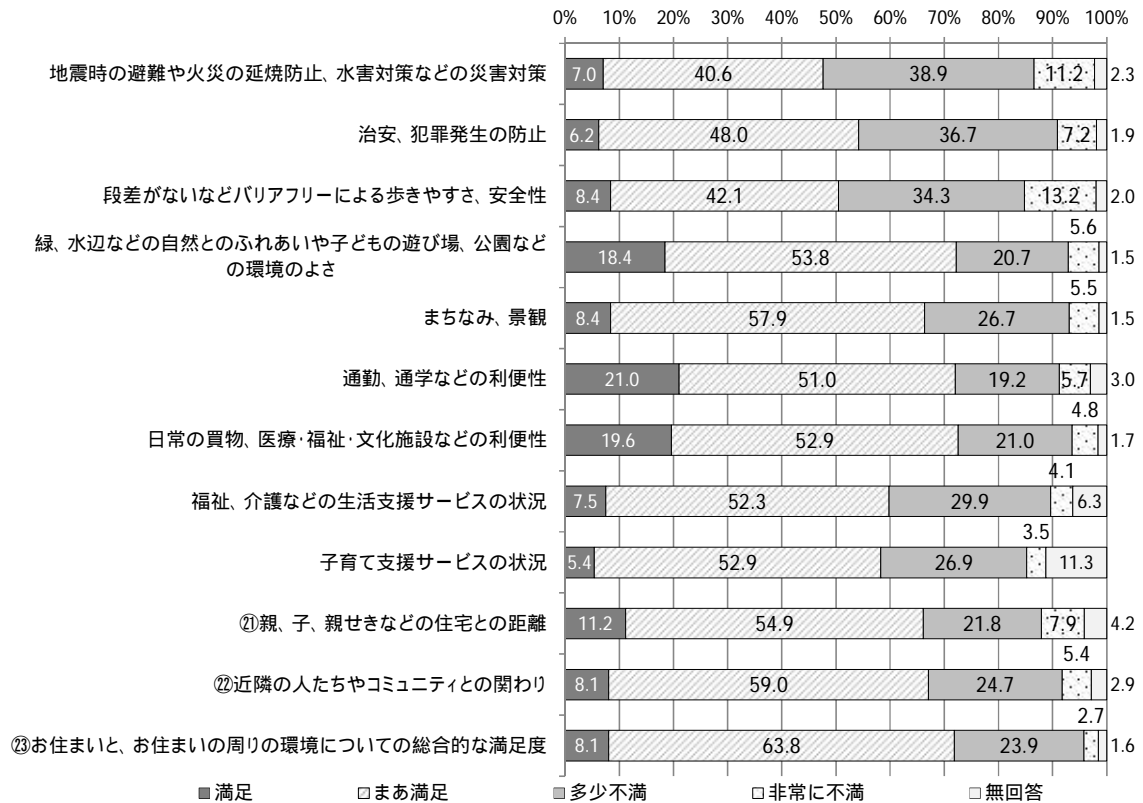
住まいに関する満足度



(5) 住まいの周りの環境に関する満足度

住まいの周りの環境に関する満足度は、「 緑、水辺などの自然とのふれあいや子どもの遊び場、公園などの環境のよさ」(72.2%)、「 通勤、通学などの利便性」(72.0%)、「 日常の買物、医療・福祉・文化施設などの利便性」(72.5%)などの満足度が高く、「 地震時の避難や火災の延焼防止、水害対策などの災害対策」(47.6%)、「 段差がないなどバリアフリーによる歩きやすさ、安全性」(54.2%)の満足度が低くなっている。

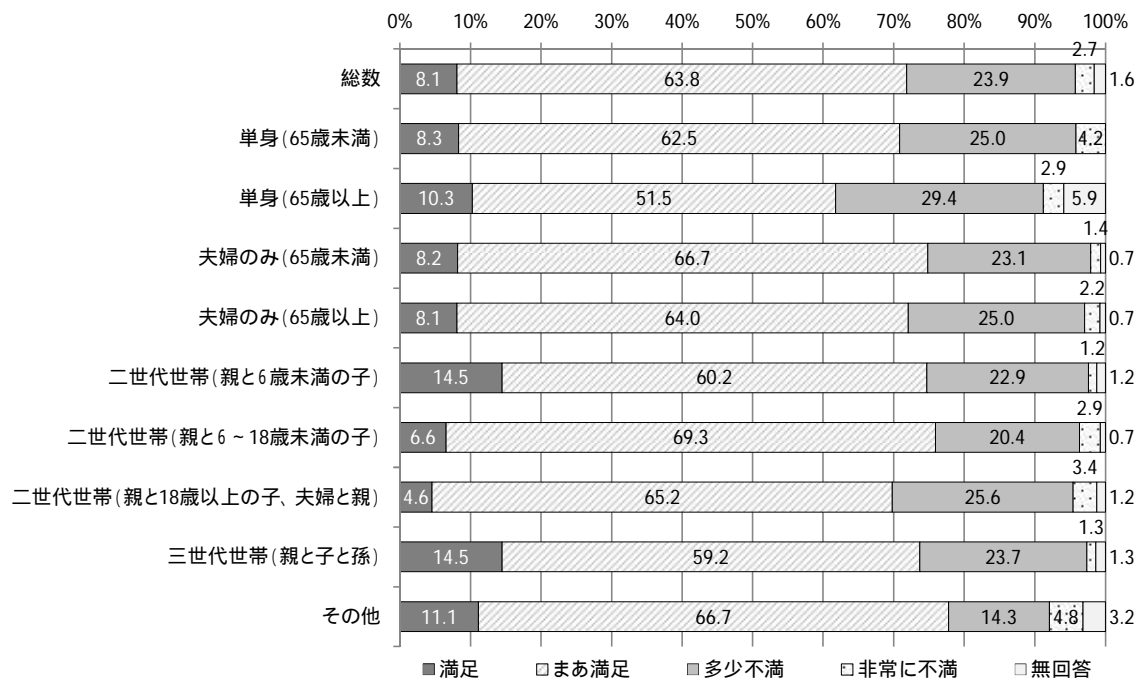
住まいの周りの環境に関する満足度



(6) 住まいと住まいの周りの環境に関する総合的な満足度

住まいと住まいの周りの環境についての総合的な満足度は 71.9%となっており、夫婦のみ(65歳未満)や二世世代世帯(親と6歳未満の子、6～18歳未満の子)で満足度が高く、それぞれ74.9%、74.7%、75.9%となっている。一方、単身(65歳以上)では満足度が低く、61.8%となっている。

家族構成の住まいと住まいの周りの環境についての総合的な満足度



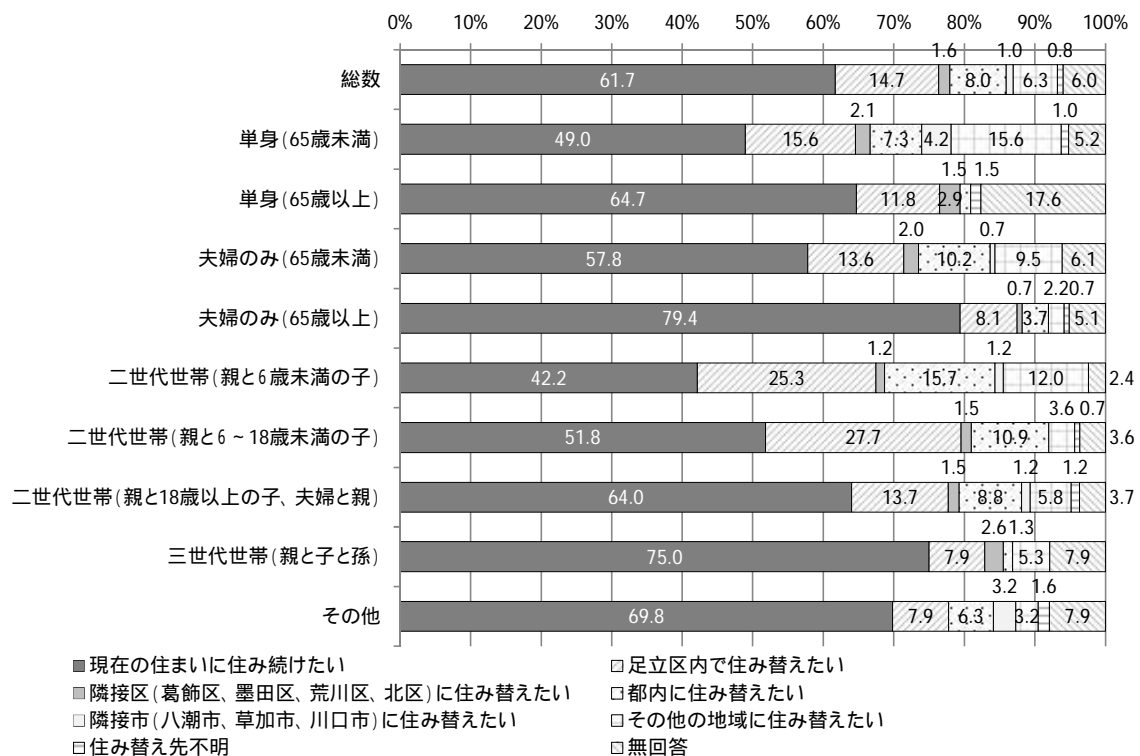
4 住み替えについて

(1) 住み替え意向

「現在の住まいに住み続けたい」が61.7%と最も多く、「足立区内で住み替えたい」の14.7%と合わせて、76.4%が足立区に住み続けることを希望している。一方、足立区外に住み替えを希望する割合は、合わせて17.6%となっている。

家族構成別では、単身（65歳未満）や二世世代世帯（親と6歳未満の子、6～18歳未満の子）で「現在の住まいに住み続けたい」の割合が少なく、住み替えを希望する割合が多くなっている。

家族構成別の住み替え意向



(2) 現在の住まいに住み続けたい理由

「住み替える理由がないため」が 43.0%と最も多いほか、「現在の住まいに満足しているため」が 38.5%、「買い物や娯楽などに便利なため」が 34.4%、「通勤・通学に便利なため」が 29.7%となっている。

家族構成別では、二世帯世帯（親と 6 歳未満の子、6～18 歳未満の子）で「通勤・通学に便利なため」の割合が多く、それぞれ 42.9%、46.5%となっている。

家族構成別の現在の住まいに住み続けたい理由

	通勤・通学に便利なため	買い物や娯楽などに便利なため	子育てや子どもの教育に適しているため	仕事や商売の都合のため	現在の住まいに満足しているため	地域に愛着があるため	住居費が安い	老後の住生活に安心感があるため	近くに子どもが同居または親や子どもが住んでいるため	ため近所つきあいがある	地震や水害などの心配がない	住み替える理由がない	その他
総数	29.7%	34.4%	4.1%	13.4%	38.5%	26.6%	13.9%	11.8%	21.0%	10.1%	3.5%	43.0%	3.8%
単身(65歳未満)	31.9%	48.9%	0.0%	4.3%	57.4%	27.7%	12.8%	6.4%	10.6%	6.4%	4.3%	38.3%	2.1%
単身(65歳以上)	9.1%	29.5%	2.3%	0.0%	34.1%	22.7%	40.9%	13.6%	18.2%	18.2%	0.0%	45.5%	0.0%
夫婦のみ(65歳未満)	28.2%	47.1%	0.0%	8.2%	50.6%	20.0%	10.6%	8.2%	16.5%	5.9%	7.1%	48.2%	3.5%
夫婦のみ(65歳以上)	17.6%	41.7%	1.9%	12.0%	42.6%	25.9%	22.2%	22.2%	14.8%	7.4%	4.6%	39.8%	1.9%
二世帯世帯(親と6歳未満の子)	42.9%	28.6%	31.4%	5.7%	25.7%	31.4%	8.6%	0.0%	20.0%	14.3%	0.0%	37.1%	2.9%
二世帯世帯(親と6～18歳未満の子)	46.5%	22.5%	5.6%	21.1%	28.2%	25.4%	9.9%	2.8%	32.4%	11.3%	1.4%	40.8%	2.8%
二世帯世帯(親と18歳以上の子、夫婦と親)	33.8%	32.4%	1.9%	16.2%	39.0%	31.0%	11.4%	13.3%	21.9%	11.4%	3.8%	42.9%	4.8%
三世帯世帯(親と子と孫)	21.1%	19.3%	7.0%	28.1%	29.8%	35.1%	3.5%	8.8%	43.9%	5.3%	0.0%	57.9%	3.5%
その他	34.1%	34.1%	2.3%	11.4%	29.5%	13.6%	9.1%	15.9%	11.4%	18.2%	4.5%	38.6%	11.4%

(3) 現在の住まいから住み替えたい理由

「現在の住まいに不満があるため」が 33.3%と最も多く、次いで「老後の住生活に不安があるため」が 31.5%、「子どもの誕生、就学や独立など家族の変化があるため」が 19.4%、「その他」が 16.4%となっている。

家族構成別では、単身（65 歳以上）や夫婦のみ（65 歳以上）で「老後の住生活に不安があるため」の割合が多く、二世帯世帯（親と 6 歳未満の子）では「子どもの誕生、就学や独立など家族の変化があるため」の割合が多くなっている。

家族構成別の現在の住まいから住み替えたい理由

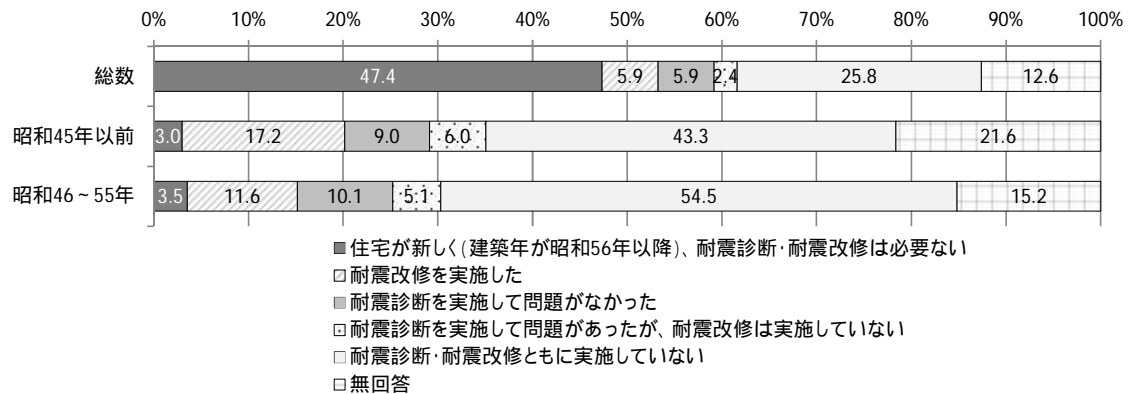
	通勤・通学に不便なため	騒音等があり、居住環境が悪い	買い物や娯楽施設などに不便	子どもや家族の誕生、就学や独立など	親や子どもと同居または近くに住むため	家賃や住宅ローンが高い	防犯に対する不安がある	子育てや子どもの教育に適さない	現在の住生活に不満がある	現在の住生活に不満があるため	現在が困窮なため	立ち退きを求められている	老後の住生活に不安がある	地震や水害などが心配なため	賃貸などの更新料に負担がある	その他
総数	12.1%	14.8%	6.5%	19.4%	12.4%	14.2%	7.5%	3.2%	33.3%	10.5%	1.3%	31.5%	13.2%	9.7%	16.4%	
単身(65歳未満)	6.8%	18.2%	9.1%	9.1%	11.4%	15.9%	6.8%	2.3%	47.7%	6.8%	4.5%	43.2%	6.8%	6.8%	25.0%	
単身(65歳以上)	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	25.0%	8.3%	0.0%	91.7%	25.0%	50.0%	0.0%	
夫婦のみ(65歳未満)	5.7%	9.4%	5.7%	13.2%	17.0%	22.6%	3.8%	1.9%	32.1%	7.5%	0.0%	39.6%	7.5%	9.4%	20.8%	
夫婦のみ(65歳以上)	4.8%	19.0%	4.8%	0.0%	9.5%	4.8%	9.5%	0.0%	28.6%	9.5%	4.8%	52.4%	23.8%	19.0%	19.0%	
二世帯世帯(親と6歳未満の子)	10.9%	23.9%	4.3%	43.5%	15.2%	10.9%	6.5%	10.9%	30.4%	2.2%	2.2%	6.5%	4.3%	8.7%	13.0%	
二世帯世帯(親と6～18歳未満の子)	18.0%	8.2%	6.6%	26.2%	11.5%	8.2%	8.2%	4.9%	44.3%	9.8%	1.6%	13.1%	6.6%	6.6%	14.8%	
二世帯世帯(親と18歳以上の子、夫婦と親)	16.0%	17.9%	6.6%	18.9%	12.3%	16.0%	8.5%	0.9%	23.6%	15.1%	0.0%	34.0%	22.6%	7.5%	14.2%	
三世帯世帯(親と子と孫)	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	46.2%	38.5%	0.0%	30.8%	0.0%	0.0%	23.1%	
その他	28.6%	7.1%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	28.6%	7.1%	0.0%	21.4%	28.6%	14.3%	7.1%	

5 安全・安心な住まいについて

(1) 耐震診断・耐震改修の実施状況

「住宅が新しく、耐震診断・耐震改修は必要ない」が47.4%と最も多い一方、「耐震診断・耐震改修ともに実施していない」が25.8%となっており、特に昭和55年以前建築の場合に「耐震診断・耐震改修ともに実施していない」の割合が高くなっている。

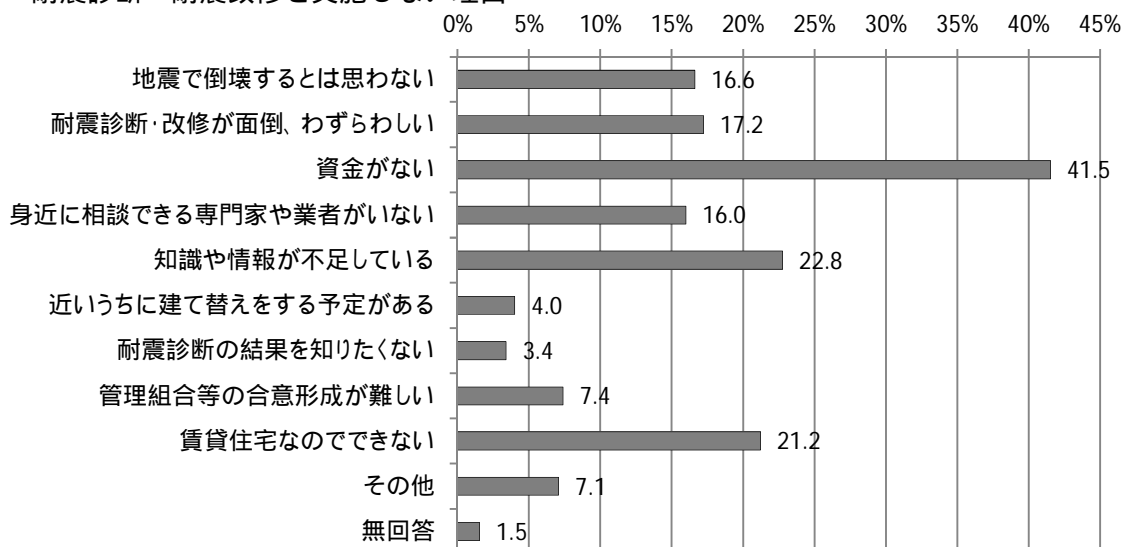
耐震診断・耐震改修の実施状況



(2) 耐震診断・耐震改修を実施しない理由

「資金がない」が41.5%と最も多く、次いで「知識や情報が不足している」が22.8%、「賃貸住宅なのでできない」が21.2%、「耐震診断・改修が面倒、わずらわしい」が17.2%となっている。

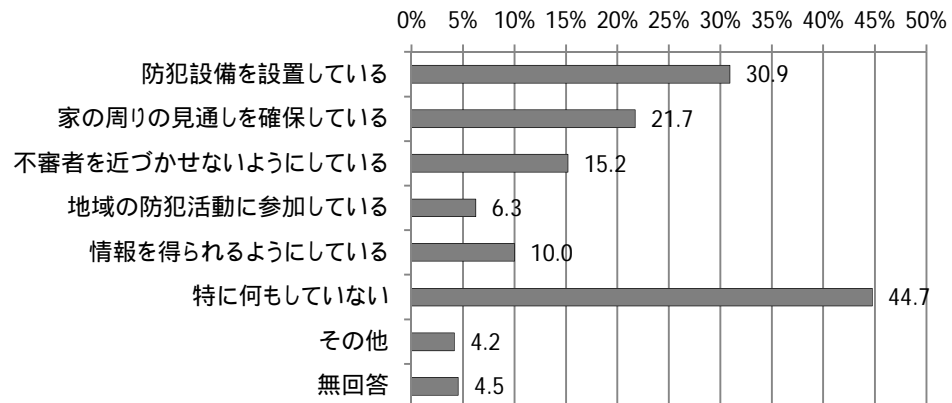
耐震診断・耐震改修を実施しない理由



(3) 住まいの防犯対策

「特に何もしていない」が44.7%と最も多い一方、「防犯設備を設置している」が30.9%、「家の周りの見通しを確保している」が21.7%、「不審者を近づかせないようにしている」が15.2%などとなっている。

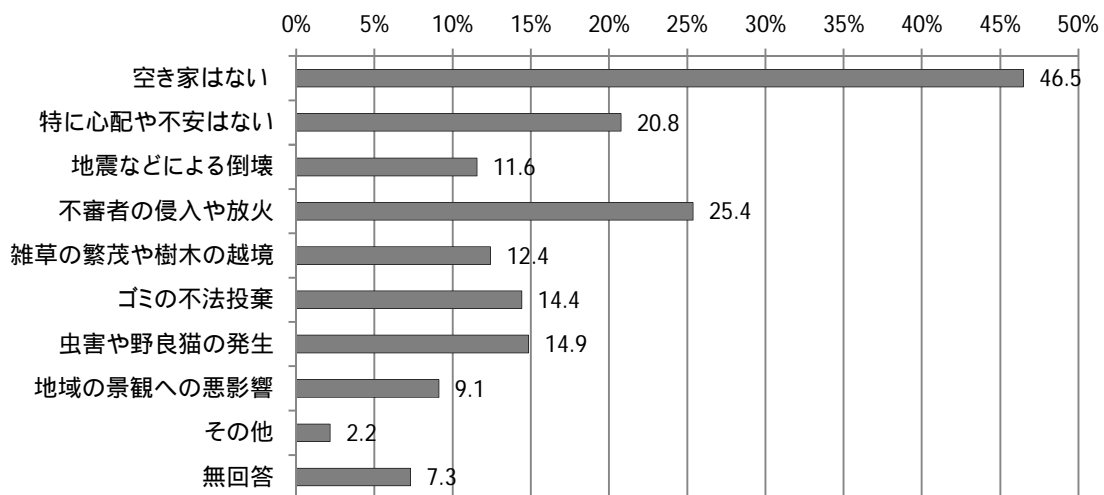
住まいの防犯対策



(4) 周辺にある空き家についての心配や不安

「空き家はない」が46.5%と最も多く、「特に心配や不安はない」が20.8%となっている一方、「不審者の侵入や放火」が25.4%、「虫害や野良猫の発生」が14.9%、「ゴミの不法投棄」が14.4%などとなっている。

周辺にある空き家についての心配や不安

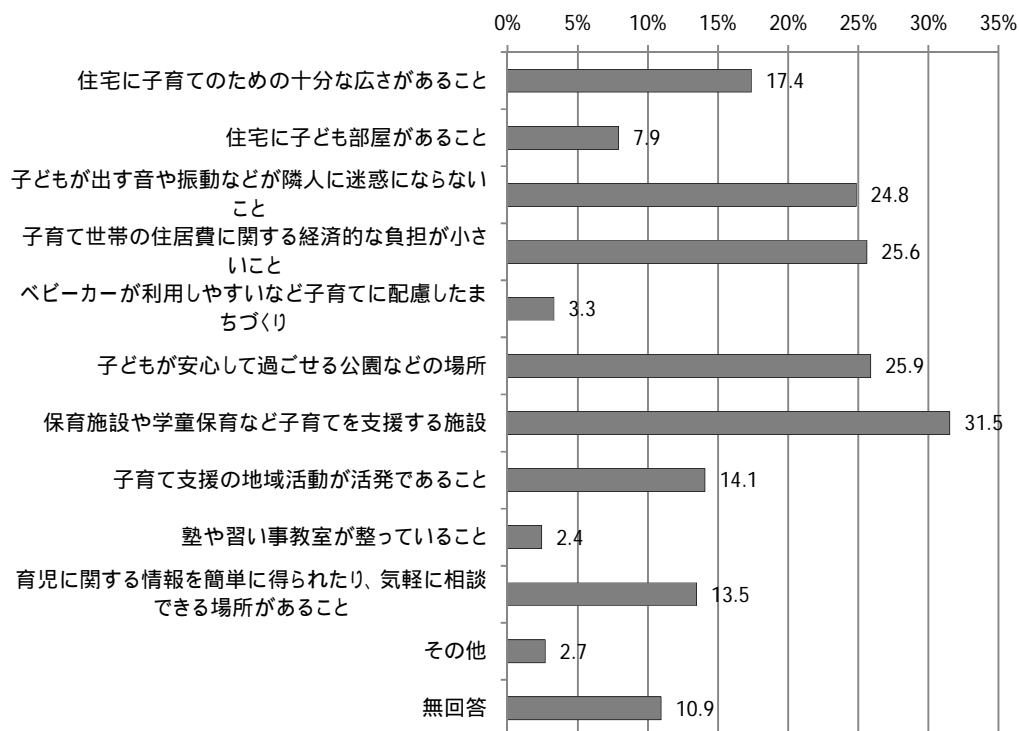


6 安心して暮らせる住環境について

(1) 子どもが健やかに育つために必要だと思うこと

「保育施設や学童保育など子育てを支援する施設」が 31.5%と最も多く、次いで「子どもが安心して過ごせる公園などの場所」が 25.9%、「子育て世帯の住居費に関する経済的な負担が小さいこと」が 25.6%、「子どもが出す音や振動などが隣人に迷惑にならないこと」が 24.8%となっている。

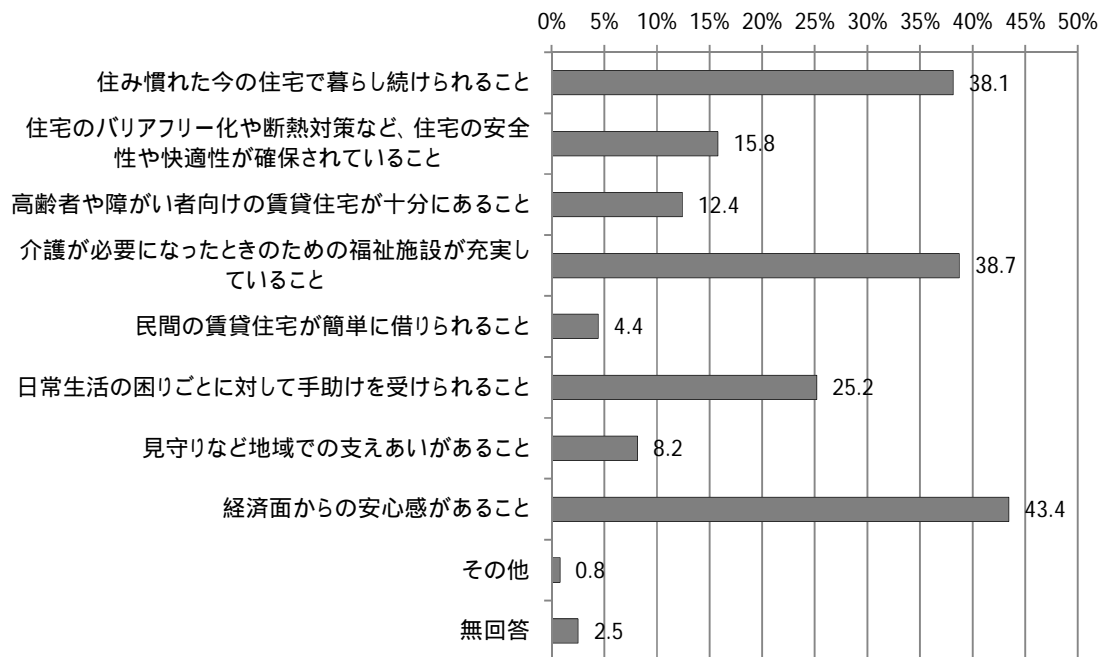
子どもが健やかに育つために住まいや住環境について必要だと思うこと



(2) 高齢期にも安心して暮らすために必要だと思うこと

「経済面からの安心感があること」が 43.4%と最も多く、次いで「介護が必要になったときのための福祉施設が充実していること」が 38.7%、「住み慣れた今の住宅で暮らし続けられること」が 38.1%、「日常生活の困りごとに対して手助けを受けられること」が 25.2%となっている。

高齢期にも安心して暮らすために住まいや住環境について必要だと思うこと

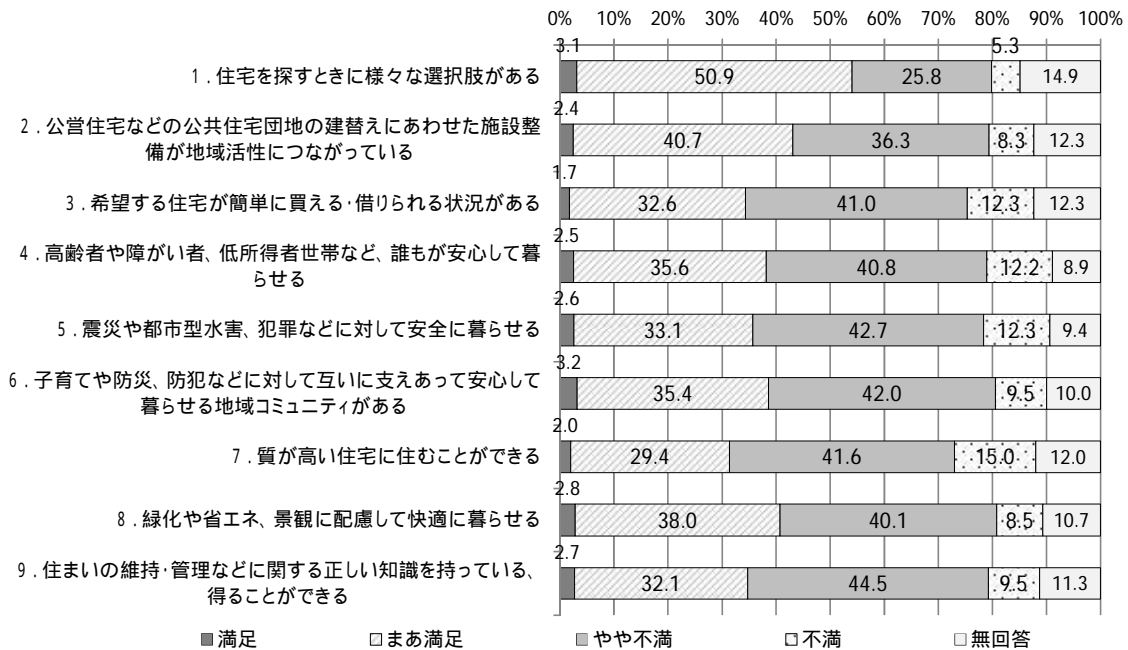


7 足立区の住まいに関する取組みについて

(1) これまでの取組みによる満足度

これまでの取組みによる満足度(「満足」と「まあ満足」の合計)は、「1. 住宅を探すときに様々な選択肢がある」が54.0%と高い一方、「7. 質が高い住宅に住むことができる」がと低くなっている。

これまでの取組みによる満足度



(2) これからの取組みで力をいれてほしいところ

これからの取組みで力をいれてほしいところ（重要度、「重要」と「やや重要」の合計）は、「 4 .高齢者や障がい者、低所得者世帯など、誰もが安心して暮らせる」(81.2%) 「 5 .震災や都市型水害、犯罪などに対して安全に暮らせる」(84.3%) 「 6 .子育てや防災、防犯などに対して互いに支えあって安心して暮らせる地域コミュニティがある」(80.8%) の重要度が高くなっている。

これからの取組みで力をいれてほしいところ（重要度）

